

「EMDR を用いた地震・津波被災者支援」継続研修へのお誘い

この度の東日本大震災で、亡くなられた方のご冥福をお祈りし、また、被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興をお祈り致します。

この度の東日本大震災を受け、日本 EMDR 学会では、JAPAN-HAP（人道支援プログラム）委員会を立ち上げ、さまざまな支援活動を展開しています。今回被災地である仙台市において、「EMDR を用いた地震・津波被災者支援」継続研修を開催いたします。

講師は生活心理相談室ナヌーク室長で、日本 EMDR 学会認定コンサルタント、EMDR 研究所ファシリテーターの太田茂行、ニキ・ハーティエ・ホスピタル理事長で、EMDR 研究所ファシリテーターの仁木啓介、兵庫教育大学発達心理臨床研究センタートラウマ回復支援研究分野教授で、日本 EMDR 学会理事長、EMDR 研究所のシニア・トレーナー、EMDRIA（EMDR 国際協会）認定コンサルタントの市井雅哉の3人が勤めます。

太田は、愛育養護学校教諭を経て、米国のトランスパーソナル心理学研究所卒業（修士）、トランスパーソナル学会常任理事、前 IFF 相談室長（精神科医の斎藤学氏の関連期間）、愛育養護学校スクールカウンセラー。専門は家族や対人関係の問題、PTSD、摂食障害や引きこもり、うつ、不安、解離性の障害、トランスパーソナル体験の援助など。日本 EMDR 学会などでの講演歴を持つ。臨床心理士。

仁木は、仁木会理事長、精神保健指定医、日本臨床催眠学会常任理事、日本 EMDR 学会理事、日本精神神経学会専門医、日本精神科病院協会認定指導医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本臨床催眠学会臨床催眠資格、熊本県精神保健福祉協会理事という肩書きを持つ。催眠、トラウマ、解離、犯罪被害者支援が専門。日本 EMDR 学会、日本臨床催眠学会、日本ブリーフサイコセラピー学会などで講演歴を持つ。精神科医師。

市井は、日本行動療法学会理事、日本心理臨床学会理事、EMDRIA 編集委員。急性、慢性の PTSD、恐怖症、ストレス、不安障害、うつ病の査定と治療が専門。日本 EMDR 学会、日本カウンセリング学会、日本行動療法学会、日本児童青年精神医学会、日本心身医学会、日本心理臨床学会、日本トラウマティックストレス学会、日本認知療法学会、日本ブリーフサイコセラピー学会、日本臨床催眠学会、韓国 EMDR 協会、アジア EMDR 学会、WCBC（世界行動療法認知療法会議）などで講演歴を持つ。臨床心理士。

このトレーニングの全てのセッションに参加なさった方は、日本 EMDR 学会の参加証が発行されます。

日 程：2011年11月20日（日）9:00 受付 9:30 開始 17:00 終了（昼食休憩 75分、昼食は各自）

定 員：50名（part1 トレーニング修了者）

参 加 費：2,000円（別に資料代が5,000円必要）（宿泊代金は含みません。宿泊の手配は各自でお願いします。）

資料は2011年5月14日、8月8日の継続研修の際に販売されたもの（マニュアル編、論文編）ですの
で、すでにお持ちの方は新たに購入する必要はありません。

受 付：2011年9月26日（月）～2011年10月21日（金）〈但し、定員に達した時点で締め切ります。〉

会 場：仙台青葉カルチャーセンター <http://www.culture.gr.jp/sendaiaoba/index.htm>

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-3-10 カルチャー仙台ビル TEL:022-225-2698

●参加資格・・・日本 EMDR 学会（旧 EMDR-Network JAPAN）が定めた参加資格

医師・・・免許取得後、精神科・心療内科・小児科などの領域で2年以上の臨床経験を有する方。

心理職・・・臨床心理士資格取得者。

●R-TEP（直近トラウマエピソードプロトコル）は、イスラエルのエラン・シャピロ博士がレバノン戦争などの経験を経て、開発した、事件、事故が起こってから十分な時間（通常は半年程度）が経過していない段階でも適用できる EMDR プロトコルです。出来事の記憶が固定化するまでの時間は、さまざまな要因で変動するようで、このプロトコルの適用範囲は決して狭くはありません。解離のケースなどにも適用可能と考えられています。

●研修は大きく、R-TEP の講義と実習、及び、事例検討、コンサルテーションに分かれています。講義と実習は太田茂行、仁木啓介を中心に行われ、実習では参加者は2人一組で役割を交代しながら実習をします。事例検討、コンサルテーションは主に市井雅哉が担当します。津波被災者への支援事例のコンサルテーションのご希望がある方は、前もってご連絡いただけたら幸いです。内容は被災地のニーズを考慮に入れ、変更になる可能性があります。

●申し込み方法：下記の申し込み書に所定事項をすべてご記入の上、Fax 頂くか、同内容のメールを事務局までご送付ください。2011年10月21日の24:00までとさせていただきます。受講いただける方には、入金方法を指示します。その指示に従い、参加費をお払いください。直前のトレーニングを受講される方はまとめて入金頂いても結構です。入金を確認した時点で、予約参加者証をお送りいたしますので、当日会場にお持ちください。1週間以上入金が遅れるとキャンセル扱いとなることもあります。

●申し込み・問合わせ先（会場への直接のお問合わせはご容赦ください）：

主催：日本 EMDR 学会*

事務局：〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学 発達心理臨床研究センター 市井研究室
TEL & Fax: 0795-44-2278 e-mail: info@emdr.jp URL: http://www.emdr.jp

「EMDR を用いた地震・津波被災者支援」継続研修（2011. 11. 20）参加申し込み書

氏名：

住所：

連絡先：

PC メールアドレス：

EMDR Part 1 トレーニング（もしくは同等の公式トレーニング）

受講年月（ ） 場所（ ）

日本 EMDR 学会会員ですか？ はい・いいえ

資料（マニュアル編、論文編）はお持ちですか？ はい・いいえ

（いいえなら、参加費 2,000 円に 5,000 円を追加納入してください）

被災事例のコンサルテーションを希望しますか？ はい・いいえ